

## 「石橋をたたいて渡る」—シカゴ珍道記—

清水 泰生

アメリカ三大マラソンのうちボストンマラソン、NYC マラソンを走ったので、三大マラソンの最後のシカゴにエントリーした。ベルリンマラソンが抽選で外れたので、すぐにエントリーした。シカゴに行く前に、以前ある国際学会でお世話になった ディポール大学 の先生に連絡を取り、そして、シカゴ大学の日本語の先生、図書館関係にも連絡を取り会うことを約束した。

2019年10月10日10時25分関西空港をもち、仁川で10日18時30分発の飛行機を乗りかえシカゴへ向かった。よく日の現地時間18時20分すぎにシカゴオヘア国際空港についた。行く前からきいていた通りシカゴは肌寒かった。そのあと、鉄道、地下鉄と乗り継いで宿舎へ。その日は終わった。

次の日雨が降っていたが ディポール大学へ、そこで日本語の先生と話をした後シカゴ大学へ。シカゴ大学の周り治安が悪いので「石橋をたたいて渡る」で地下鉄でシカゴ市内の南の安全な駅まで行き、そこからタクシーで大学へ向かった。そして、シカゴ大学へ到着。まず日本語科の先生に会って食事をする。食事をしながらシカゴ大学の日本語教育についてお話をうかがった。そのあと図書館へ。本を献本して図書館の人と歓談。治安が悪いので「石橋をたたいて渡る」で、タクシーでシカゴマラソンの受付会場に行った方がいいと言われ、大学の図書館の人が用意したウーバータクシーで会場に行った。会場でナンバーカードを取った。その時日本人と偶然出会って海外のマラソンに話の花を咲かせた。そのあと市の中心のホテルへ向かった。そして、ホテルに到着、その日は終わった。

次の日(10月12日)天気が良くなったが寒い。日本の二月くらいの天候であった。明日のスタート地点へ歩いて下見に行った。そして、ホテルに戻りその日は終わった。そして大会当日(10月13日)。スタートは7時30分と早く朝4時30分に起床、歩いてスタート地点まで行った。うー、寒い、日本の2月くらいの気温であった。第一ウエーブでのスタート、18キロ付近で両足けいれんを起こし、その時、寒い中どのようにしてゴールしようかと考える。「石橋をたたいて渡る」の作戦で10キロ弱、軽いジョギングと歩くのを繰り返して足の調子を戻そうとした。28キロ付近から足の調子がすこし戻ったのでランニング再開、4時間かかると思ったが3時間53分ほどで走れてよかった。ゴールをしてからホテルまで歩いて戻った。そして、ホテルに荷物を取ってシカゴの空港へ向かう。23時55分発の飛行機で帰国した。マラソンも大学もシカゴの街も特に目立ったものはなかった。ただ、「風の街シカゴ」と言われるだけあってビルからの隙間風が寒く、震え上がるほどであった。

地下鉄のチケット



19 キロ付近、歩いている様子

